

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	新潟医療福祉大学
設置者名	学校法人新潟総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
リハビリテーション学部	理学療法学科	夜・通信	4	0	17	21	13	
	作業療法学科	夜・通信	4	0	14	18	13	
	言語聴覚学科	夜・通信	4	0	22	26	13	
	義肢装具自立支援学科	夜・通信	4	0	13	17	13	
医療技術学部	理学療法学科	夜・通信	2	0	17	19	13	
	作業療法学科	夜・通信	2	0	13	15	13	
	言語聴覚学科	夜・通信	2	0	22	24	13	
	義肢装具自立支援学科	夜・通信	2	0	13	15	13	
	臨床技術学科	夜・通信	4	0	13	17	13	
	視機能科学科	夜・通信	4	0	15	19	13	
	救急救命学科	夜・通信	4	0	16	20	13	
	診療放射線学科	夜・通信	4	0	14	18	13	
健康科学部	健康栄養学科	夜・通信	4	0	14	18	13	
	健康スポーツ学科	夜・通信	4	0	14	18	13	
	看護学科	夜・通信	2	0	11	13	13	

看護学部	看護学科	夜・通信	4	0	13	17	13	
社会福祉学部	社会福祉学科	夜・通信	4	0	15	19	13	
医療経営管理学部	医療情報管理学科	夜・通信	4	0	14	18	13	
<p>(備考)</p> <p>1) 2018 年度学部改組により、次に掲げる学部学科はすでに学生募集を停止している。在学生がいなくなった時点でこれらの学科を廃止する。</p> <p>○医療技術学部： 理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・義肢装具自立支援学科</p> <p>○健康科学部： 看護学科</p> <p>2) 次に掲げる学部学科は新設により、学年進行中である。</p> <p>○リハビリテーション学部理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・義肢装具自立支援学科 (2018 年度設置)</p> <p>○医療技術学部診療放射線学科 (2018 年度設置)</p> <p>○看護学部看護学科 (2018 年度設置)</p> <p>3) 本学は 2018 年度に全学的にカリキュラム改定を行っている。したがって、上記 1)・2) に掲げる学部学科を除いた学科等においては、新カリキュラム (1・2・3 年次)、旧カリキュラム (4 年次) を組み合わせて「実務経験のある教員等による授業科目」を計上している。</p> <p>4) 「実務経験のある教員等による授業科目」に該当する科目は、シラバスの【授業の概要】欄において、担当教員がどのような実務経験を有しているかを記載している。</p>								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 WEB サイトの下記 URL にて公表する。
https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/exp_subject.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	(該当なし)
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟医療福祉大学
設置者名	学校法人新潟総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学 HP の「大学概要」→「本学園概要」の中で役員等名簿を公表。 (https://www.nuhw.ac.jp/about/officer.html)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人（他法人）役員	2019.6.1～ 2021.5.31	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	公益財団法人役員	2019.3.30～ 2021.3.29	組織運営体制への チェック機能等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	新潟医療福祉大学
設置者名	学校法人新潟総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1) 作成過程</p> <p>本学が開設する全授業科目について、シラバスを作成し、下記 URL のポータルサイトにおいて公表している(ポータルサイト上のシラバスの閲覧は、学外者の閲覧も可能になっている)。</p> <p>シラバスの作成にあたっては、「シラバス登録操作マニュアル」を配布し、「授業の概要」「授業の目的」「学習目標」、各授業回数における「授業計画・学習主題」「授業形態・事前事後学習・学習課題・備考」等の決められた記載事項の書き方についてガイドラインを示している。</p> <p>開設年度のみならず、次年度以降に開講する科目についてもシラバスを掲載しており、学生が4年間の履修計画を見通して立てられるように配慮している。</p> <p>建学の精神「優れた QOL サポーターの育成」に資するように、QOL サポーターとして備えるべき資質として S (科学的知識と技術を活用する力)・T (チームワークとリーダーシップ)・E (対象者を支援する力)・P (問題を解決する力)・S (自己実現意欲)の5つを定義し、各科目のディプロマポリシーとの関連性をシラバスに明記している。</p> <p>2) 作成・公表時期</p> <p>シラバスの作成は前年度11月から開始する。</p> <p>公表開始時期は、新年度開始前の3月25日頃としている。</p> <p>※ なお、上記の記載事項は全学部共通の取り組みである。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 WEB ポータルサイトの下記 URL にて授業科目名を入力して閲覧(学外者の閲覧も可能)。</p> <p>https://portal.nuhw.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

下記のとおり、「新潟医療福祉大学授業科目の履修の認定、試験及び成績評価に関する細則」に則り試験の実施および成績評価を行う。また、下記細則の第7条第3項においては、平常の学修の成績等（レポート課題、小テスト等）を加味することができることと定められており、各科目担当者がシラバスに記載した評価割合に従って、成績評価を行う。

新潟医療福祉大学授業科目の履修の認定、試験及び成績評価に関する細則

(趣旨)

第1条 この細則は、新潟医療福祉大学学則第25条に規定する授業科目の履修及び試験並びに第32条に規定する成績の評価に関する必要な事項を定める。

(履修の認定)

第2条 授業科目を履修し、その試験に合格した学生には、当該授業科目の履修を認定し、所定の単位を与える。

2 演習、実習及び実技については、平常の学修の成績及び出席状況等に基づいて履修を認定し、所定の単位を与えることができる。

3 学外実習科目については、別に学科の定めるところにより履修を認定し、所定の単位を与えることができる。

(試験の種類)

第3条 試験は、定期試験、追試験及び再試験とする。

(定期試験)

第4条 定期試験とは、履修した科目の授業が終了する学期の中間又は学期末の試験期間に行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験期間初日の2週間前までに一括して公示する。

3 教育上有益と認めるときは、授業科目の平常の学修の成績又は授業科目担当教員が提出させたレポート等の成績等をもって、定期試験に代えることができる。

4 定期試験の結果及び前項の成績の結果は、合格、要再試験、不合格の三段階で公示する。

5 定期試験の結果には、必要に応じ授業科目の平常の学習の成績、出席状況及び授業科目担当教員が提出させたレポート等の成績等を加味することができる。

(追試験)

第5条 追試験とは、病気、その他やむを得ない理由によって授業科目の定期試験を受けることができなかった学生に対して、当該授業科目について行わなければならない試験をいう。

2 追試験を受験しようとする学生は、所属学科の教員に理由を説明して許可を得た上で、所定の受験申請書を速やかに教務委員会に提出しなければならない。なお所属学科の教員は、正当な理由である場合は必ず許可するものとする。

3 教務委員会は、授業科目担当教員と協議した上で、追試験の実施日時を公示するとともに、申請者に通知する。

4 教育上有益と認めるときは、科目担当教員が新たに提出させるレポート等の成績等をもって、追試験に代えることができる。

5 追試験の結果、及び前項の成績の結果は、合格、要再試験、不合格の三段階で公示する。

6 追試験の結果には、必要に応じ授業科目の平常の学習の成績、出席状況及び授業科目担当教員が提出させたレポート等の成績等を加味することができる。

(再試験)

第6条 再試験とは、定期試験、追試験、第4条第3項で定める成績又は第5条第4項で定める成績の結果において、要再試験とされた授業科目がある学生に対して、当該授業科目について、改めて行う試験をいう。

2 要再試験とされた学生に対する再試験の実施日時は、原則として実施日の7日前ま

でに公示する。ただし、公示日は大学休業期間中とならないこととし、再試験を次学期以降に行う場合には、学期の末日までに公示する。

3 教育上有益と認めるときは、授業科目担当教員が新たに提出させるレポート等の成績等をもって、再試験に代えることができる。

4 再試験の結果及び前項の成績の結果は、合格、要再試験、不合格の三段階で公示する。

(受験資格)

第7条 次の各号に該当する学生は、履修登録した授業科目の受験を認めないことがある。

(1) 授業料を滞納している者

(2) 授業の出席時間数が、授業の総時間数の3分の2未満の者

(成績評価)

第8条 成績評価は、授業科目の担当教員が行う。

2 定期試験、追試験、第4条第3項で定める成績、及び第5条第4項で定める成績は、100点を上限として、再試験及び第6条第3項で定める成績は60点を上限として採点し、評価区分を学籍簿に記録することとし、点数と評価区分の対応は以下のとおりとする。

(1) 平成16年度以降の入学生

点数区分	評価区分	単位認定
100～90点	A+	合格
89～80点	A	合格
79～70点	B	合格
69～60点	C	合格
59～0点	D	不合格

(2) 平成16年度以前の入学生

点数区分	評価区分	単位認定
100～80点	A	合格
79～70点	B	合格
69～60点	C	合格
59～0点	D	不合格

3 点数が59点以下の場合、要再試験として評価区分の確定を保留し、再試験の成績によって評価区分を決定することができる。

4 正当な理由なく再試験を受けなかった学生の成績は、0点とし、評価区分はDとする。

(成績評価の報告)

第9条 授業科目担当教員は指定の期日までに、試験の成績と評価区分を所定の用紙に記入し、当該学科長の確認を経なければならない。

2 学科長は学長の求めに応じて報告しなければならない。

(不正行為に対する罰則)

第10条 試験において不正行為を行った学生に対しては、当該授業科目又は当該学期の全履修科目の評価区分をDとした上で、学則第46条の規定に基づいて懲戒する。

(学外実習に対する罰則)

第11条 学外実習において情報倫理に反する行為を行った学生に対しては、当該学外実習科目又は当該学期の全履修科目の評価区分をDとした上で、学則第46条の規定に基づいて懲戒する。

(補則)

第12条 この細則に定めるもののほか、試験実施等に必要な事項は教務委員会が別に定める。

(改廃)

第13条 この細則の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

<p>附 則 この細則は、平成13年7月18日から施行する。</p> <p>附 則 この細則は、平成16年3月17日から施行する。</p> <p>附 則 この細則は、平成17年9月28日から施行する。</p> <p>附 則 この細則は、平成22年1月20日から施行する。</p> <p>附 則 この細則は、平成25年12月4日から施行する。</p> <p>附 則 この細則は、平成27年4月1日から施行する。</p>	<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では成績の客観的指標としてGPAを導入し、成績評価のA⁺(4点)・A(3点)・B(2点)・C(1点)までを合格、D(0点)を不合格としている。ただし、「基礎ゼミ」「連携基礎ゼミ」および学外実習科目については、GPAの対象外としている。</p> <p>一部の学科においては、一定のGPAに達している学生に対して履修科目単位数の上限(CAP制)を緩和し、より多様な科目履修が可能となり、学修意欲を喚起する仕組みを設けている。</p> <p>なお、学生の成績表には、GPAが明記されている。</p> <p>※ 各学科のGPAは、下記URLにて掲載している。</p>	<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生には『履修の手引き』を配布し、GPAについて上記の内容を掲載している。 ・GPAについては、上記同様の内容を本学WEBサイトの下記URLにて公表している。 https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/standard02.pdf ・各学科のGPA分布については、下記URLにて公表している。 https://www.nuhw.ac.jp/about/disclosure.html のうち、[修学支援新制度に関する申請書等]の項目内
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第 42 条に定める卒業要件を満たし、かつ、大学全体・各学部・各学科単位でそれぞれディプロマポリシーに適った学生を対象として、卒業判定会議、教授会を経て、学長が卒業を認定する。</p> <p>卒業を認定された者に対しては、学則第 43 条に定める学位（下記 URL 参照）を授与する。</p> <p>ディプロマポリシー、卒業要件、取得可能な学位は下記の URL で公表している。</p> <p><ディプロマポリシー> https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/college.html#diploma</p> <p><卒業要件> https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/standard01_190522.pdf</p> <p><取得可能な学位> https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/degree_190522.pdf</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>本学 WEB サイトの下記 URL から、ディプロマポリシー、卒業に必要な修得単位数、取得可能な学位を公表している。</p> <p>https://www.nuhw.ac.jp/about/disclosure.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	新潟医療福祉大学
設置者名	学校法人新潟総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nuhw.ac.jp/about/financial.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.nuhw.ac.jp/about/financial.html
財産目録	https://www.nuhw.ac.jp/about/financial.html
事業報告書	https://www.nuhw.ac.jp/about/financial.html
監事による監査報告(書)	https://www.nuhw.ac.jp/about/financial.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学WEBサイトの下記URLにて公表している。 https://www.nuhw.ac.jp/about/pdf/h25jikohyouka.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学WEBサイトの下記URLにて公表している。 https://www.nuhw.ac.jp/about/assessment.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	リハビリテーション学部
教育研究上の目的（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/department.pdf?180728 ）	
(概要)	リハビリテーション学部は、幅広い教養科目とリハビリテーションに関連する専門基礎科目や専門専攻科目を通して、リハビリテーションの基盤を形成する理学療法学、作業療法学、言語聴覚療法学および義肢装具自立支援学に関する知識・技能や、科学的思考力、医療従事者としての倫理観と責任感、および人間性を涵養する。さらに、様々な問題点を発見し、論理的に解決する力を養うとともに、変化する社会のニーズや科学の進歩に関心を持ち続け、生涯を通じて探求心を礎に自らを高めることができる精神を醸成する。これにより、保健・医療・福祉を主とした多職種間で調和のとれたコミュニケーションを図ることができる「優れた QOL サポーター」を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/ ）	
(概要)	<p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 幅広い教養と、リハビリテーションの根幹である理学療法学、作業療法学、言語聴覚療法学、義肢装具療法学に関する高い知識および技術を有し、それらを活用できる。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 多職種と連携し、対象者の問題解決に向けた情報収集ができ、コミュニケーションを図りながら職務を遂行できる。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 医療従事者としての倫理観と責任感を持ち、リハビリテーションを必要とする対象者の生き方を理解し、対象者の自立を促すために適切な支援ができる。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 リハビリテーションに関する専門知識と他の職種からの情報を活かし、論理的思考によって対象者の問題を解決できる。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 国内外を問わず、広く社会情勢にも関心を持ち、生涯を通じてリハビリテーションに関連する専門知識・技術を高めることができる。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/ ）	
(概要)	<p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 リハビリテーションに関する科学的知識および科学的思考力を修得するため、基礎教養科目群や専門基礎科目群、専門専攻科目群を配置する。成果は基礎教養科目群や専門基礎科目群、専門専攻科目群の成績により評価する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 他人を理解する心とコミュニケーション能力を向上させ、リハビリテーション領域におけるリーダーシップ力を修得するために保健医療福祉教養科目群や保健医療福祉連携科目群などを配置する。成果は保健医療福祉連携科目群の成績により評価する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 リハビリテーションを必要とする対象者に対して適切な治療またはサービスを施行できる知識・技術・態度を修得するために専門基礎科目群や専門専攻科目群を配置する。成果は専門専攻科目群および臨床実習の成績により評価する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力</p>

<p>幅広い教養と論理的思考力を養い、問題発見および問題解決力を修得するため、専門基礎科目群や卒業研究、臨床実習などを配置する。成果は卒業研究の成績により評価する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 リハビリテーション領域について優れた QOL サポーターになるための意欲を高め、生涯を通じて学修する力を修得するために基礎教養科目や保健医療福祉教養科目群、卒業研究などを配置する。成果は全修得科目の成績により評価する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 高等学校卒業相当の基礎学力および学習能力を有する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ チームワークを大切にし、リーダーシップを発揮してチームを導く力を有する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 他者の意見を理解し、それに共感することができ、リハビリテーションを必要とする対象者を支援しようとする態度を有する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 ある事象に対して妥当な判断をくだすために、他者の意見を取り入れながら、多面的に考える能力を有する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 リハビリテーション専門職を志す動機や意欲を有する。</p>

<p>学部等名 医療技術学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/department.pdf?180728）</p>
<p>（概要）</p> <p>医療技術学部は、多くの学問領域から構成されている特徴を生かした連携教育や工夫されたカリキュラムなどを通して、科学的思考力とともに専門的な知識・技術、幅広い教養を育み、高い倫理観や豊かな人間性を養うとともに、変化する社会のニーズや科学の進歩に関心を持ち続け、生涯を通じて探求心を礎に自らを高めることができるよう支援する。これにより、保健・医療・福祉を主とした多職種間で調和のとれたコミュニケーションを図ることができる「優れた QOL サポーター」を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 専門知識・技術を有し、科学的な視点でものごとを考え、活用することができる。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ チーム医療の一員として国内外を問わず対象者および他の職種とコミュニケーションを図りながら職務を遂行できる。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 自らの専門分野に関する高い技能を生かし、他の専門職と連携、協働し、対象者のニーズを把握したうえで支援を適切にできる。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 さまざまな健康課題に対して、高い倫理観をもち、他の職種からの情報と合わせて論理的に問題解決ができる。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 最新の医療情報や医療技術の進歩に関心をもち、常に専門性を追求するだけでなく、チーム医療の増進を主体的に学習し続けることができる。</p>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。
<https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/>）

（概要）

[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力

新しい知識・技術の活用力を修得するために専門分野において国家資格が取得でき、時代の求める医療従事者の一翼を担える人材を育成する科目群を配置する。成果は国家試験合格率で評価する。

[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ

関連する多くの専門職間で連携し、協力しながら対象者のサポートにあたるチーム医療の一員として活躍できる知識や協調性、リーダーシップを身につけるために全学科の学生が共に学べる連携基礎ゼミ・連携総合ゼミを配置する。成果は連携総合ゼミで評価する。

[Empowerment] 対象者を支援する力

医療の専門職として活躍できる確かな知識・技術と幅広い教養を身につけ、人間味ある高度医療人として対象者を支援する力を修得するために基礎から応用に至るまで段階的にカリキュラムを配置する。成果は臨床実習で評価する。

[Problem-solving] 問題を解決する力

問題点を発見し、解決への道筋を見つけ、創造する能力を育成し、医学・医療に関する学会発表、論文作成の基本を修得するために卒業研究ゼミを配置する。成果は卒業研究で評価する。

[Self-realization] 自己実現意欲

さまざまな夢を相互に確認しあい、夢実現に対する関心と意欲を高めるために全入学生に対して作文「私の夢」を課し、全員が参加する発表会を配置する。医療における QOL の基本を学び、医療の優れた QOL サポーターとして自律的な生き方を修得するために個々の学生が関心をもつ科目を選択履修できる教養科目や実践行動学を配置する。成果は発表会および科目試験で評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。
<https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/>）

（概要）

[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力

高等学校卒業相当の基礎的な学習能力と知識を有する。

[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ

相手の話をよく聞くこと、自分の考えを相手にわかりやすく伝えること、他者と協力してものごとを行う力を有する。

[Empowerment] 対象者を支援する力

対話や関わりを通して他者の意見や思いを把握し、それを共感的に理解しようとする態度を有する。

[Problem-solving] 問題を解決する力

医療上のある事象に対して妥当な判断をくだすために、他者の意見を取り入れながら、多面的に考察する力を有する。

[Self-realization] 自己実現意欲

医療領域の専門職を志す動機や意欲を有する。

学部等名 健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/department.pdf?180728 ）
<p>（概要）</p> <p>健康科学部は、幅広い教養と豊かな人間性を育み、専門分野の深い理解をもとに健康課題についての的確な判断力と問題解決能力を醸成する。また、高い技能とコミュニケーション能力とともに、専門的職業人としての使命感と責任感を培い、社会や科学の発展に関心を持ち、生涯を通じて探求心を礎に主体的に学習する人材を育成する。これらにより、人の健康づくりを担う「優れた QOL サポーター」の育成を目指す。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/ ）
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 幅広い教養と自らの専門分野に対する高い科学的知識と技術を活用できる。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 多職種間連携の技能を活かし、対象者および他の職種と良好なコミュニケーションを図りながら職務を遂行できる。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 人の多様な生き方を理解し、国際化した社会の一員として適切に対象者への支援ができる。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 科学的に評価された結果を、他の職種からの情報と合わせて論理的に思考・解釈し、対象者の問題を解決できる。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 保健・医療・福祉・スポーツに関する課題に広く関心を持ち、生涯を通じて、主体的・意欲的に学習できる。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/ ）
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 1年次から4年次まで、基礎教養科目、専門基礎科目、専門専攻科目を段階的に配置する。基礎的知識を修得して、専門的知識や技術に活用したり探求できるカリキュラムを編成する。成果は資格試験・国家試験で評価する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 専門職が連携・協働し、チーム医療・チームアプローチの一員として活躍するための協調性やリーダーシップを身につけるために他学科と合同で実施する科目を配置する。成果は授業後のアンケートまたは履修科目の成績により評価する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 幅広い教養を身につけ、対象者に共感し、支援できる素養を修得するために保健医療福祉教養科目群や保健医療福祉連携科目群を配置する。成果は、臨床実習、インターンシップ実習、教育実習で評価する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 論理的に思考し議論する能力と、問題を解釈し解決する能力を修得するために健康科学についての専門科目や卒業研究、ゼミ活動科目を配置する。成果は卒業研究で評価する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 優れた管理栄養士、健康・スポーツ・教育の専門職としての心構えを修得するために全入学生に対して作文「私の夢」が課されており、その「私の夢」を実現するために、さまざまな専門科目を配置し、将来設計を確認できるキャリア教育を実施する。また、主体的に学ぶ力を習得するために、PBL を導入する。成果はレポート内容または資格試験合格率で評価する。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 高校卒業相当の基礎的な学習能力と知識を有する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 相手の話をよく聞き、自分の考えを相手にわかりやすく伝えながら、他者と協力して物事を遂行する能力を有する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 対話や関わりを通して、他者の意見や思いを把握し、それを共感的に理解しようとする態度を有する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 ある事象に対して妥当な判断をくだすために、他者の意見を取り入れながら、多面的に考える能力を有する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 保健・医療・福祉・スポーツ領域の専門職を志す動機や意欲を有する。</p>
<p>学部等名 看護学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/department.pdf?180728）</p>
<p>（概要）</p> <p>看護学部は、人の多様な価値観を尊重し、人権擁護に基づく行動がとれる倫理的能力や看護者として必要な幅広い教養と豊かな人間性を培い、専門的知識と方法論を用いて課題を解決していくための判断力と問題解決能力を育成する。さらに、保健医療福祉における看護の役割を果たし、連携医療を担える能力を育成するとともに、看護の動向や社会の変化に関心をもち続け、地域・国際社会におけるヒューマンケアリングに基づいた看護を探求しようとする使命感と責任感を涵養する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 看護の対象となる人を理解するための教養を有し、看護に関する必要な専門知識と技術が活用できる。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 多職種と良好なコミュニケーションを取りながらメンバーシップ・リーダーシップが発揮できる。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 人の多様な価値観を尊重し、看護職としての倫理観に基づいた責任ある行動ができ、看護の専門知識と技術に基づいて看護を提供することができる。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 看護の専門知識と方法論を用いて対象者の問題を解決できる。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 知的好奇心をもち、看護の動向や社会の変化について、生涯を通じて主体的・意欲的に学習できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>

<p>(概要)</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 基礎的な学習スキルを修得するために基礎教養科目や保健医療福祉教養科目を配置する。看護アセスメント力を修得するために1年次から段階的に専門科目を配置する。看護実践に必要な専門知識を身につけるために4年間を通じたシミュレーション教育を実施する。成果は全修得科目の成績により評価する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ チームワークの重要性を自覚し、看護の一員としてチーム医療に必要なメンバーシップ・リーダーシップを身につけるために全学で実施する連携教育、シミュレーションを活用した連携教育、グループ学習、看護学演習・実習を配置する。成果は臨地実習の成績により評価する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 高度な看護実践力を修得するために段階に応じた実習施設においてさまざまな対象者と出会うことのできる科目を配置する。幅広く対象者を支援する力を修得するために異なる生活背景や価値観をもつ対象者を尊重することができるシミュレーション教育を実施する。看護学を在宅医療につながる地域包括ケアの視点で学習するために看護実践論や統合実習を配置する。成果は臨地実習の成果により評価する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 問題を発見する能力、論理的思考による解決への道筋を見出す力を修得するために看護研究や卒業研究を配置する。また、個々の対象者の問題を解決する力を修得するために領域別看護学実習を配置する。自ら考え、解決する力を修得するためにアクティブラーニングの手法を取り入れた授業を実施する。成果は卒業研究と臨地実習の成績により評価する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 世界や地域に貢献できる優れたQOLサポーターになるための心構えを身につけ、多様な職業選択が可能となるよう、看護師、保健師、助産師、養護教諭一種免許取得ができる科目群や国際看護論・災害看護論、専門専攻選択科目群を配置する。成果は卒業生の進路により評価する。</p> <p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>
<p>(概要)</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 高等学校卒業相当の英語・国語および入学選考試験にて出題する教科・科目の基礎学力を有する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 自分の意思を表現し、周囲の人々と協力して物事を成し遂げる能力を有する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 人との関わりを大切にし、相互理解に努めようとする態度を有する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 ある事象に対して探求心をもち、さまざまな視点から物事を考え、自分の意見をまとめる能力を有する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 看護に対する強い興味・関心があり、看護を学ぶ高い意欲を有する。</p>

学部等名 社会福祉学部
教育研究上の目的（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/department.pdf?180728 ）
<p>（概要）</p> <p>社会福祉学部は、福祉社会の構築に必要な専門的な知識と人間を理解するための幅広い教養、専門的な知識に根ざした思考力と判断力を養成する。また、福祉社会の構成要素の動向に関心をもち、福祉増進のための課題をとらえる意欲と、人間の多様な生き方や個性、自己表現の方法を多角的に理解し、人権と人格を尊重する態度を涵養する。さらに、社会福祉専門職としての問題解決能力と、対象となる個人や集団と良好な関係を築き、同僚や関連職種・機関と連携できる能力を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p> <p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 人を理解するための幅広い教養をもち、福祉社会の構築に必要な専門知識と技術を活用できる。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 社会福祉専門職として、国内外を問わず対象となる個人や集団と良好なコミュニケーションを図り、同僚や保健・医療・福祉の関連職種・機関と連携できる。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 人の多様性を理解した社会人として人権と人格を尊重して対象者を支援できる。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 福祉社会の構築に必要な専門的な知識に根ざした思考と判断をもとに、国や地域において問題解決ができる。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 福祉社会を構成する諸要素の動向に関心をもち、人間の福祉増進のための課題を捉えようとする意欲を有し、生涯を通じて主体的・意欲的に学習できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p> <p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 福祉社会の構築に必要な専門知識と技術を修得し、人を理解するための幅広い教養を身につけるために、教養科目や専門基礎科目を配置する。成果は、国家試験合格率で評価する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 社会福祉専門職として、対象となる個人や集団と良好なコミュニケーションを図り、同僚や保健・医療・福祉の関連職種・機関と連携できる協調性やリーダーシップを身につけるために、保健医療福祉連携科目群や専門専攻科目群を配置する。成果は、保健医療福祉連携科目群および専門専攻科目群の成績により評価する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 人の多様性は生き方や個性、対象者の状況などを多角的に理解しようと努力し、人権と人格を尊重することができる素養を修得するために、専門専攻科目群を配置する。成果は、専門専攻科目群および相談援助実習の成績により評価する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 福祉社会の構築に必要な専門的な知識に根ざした思考と判断をもとに、問題を解釈し解決する力を修得するために、専門基礎科目、専門専攻科目を配置し、ゼミ活動を実施する。成果は、ゼミ論文の成績により評価する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 福祉社会を構成する諸要素の動向に関心をもち、人間の福祉増進のための課題を捉えようとする意欲を高め、自らが社会的役割を実行することができる素養を身につけるために、専門専攻科目を配置し、ゼミ活動、キャリア教育を実施する。成果は、全修得科目の成績により評価する。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 高等学校卒業相当の英語・国語および入学選考試験にて出題する教科・科目の基礎学習力を有する。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 相手の話をよく聞き、自分の意思を相手にわかりやすく伝える能力を有する。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 人の多様な生き方や考え方を大切にし、わかりあおうとする態度を有する。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 人の生活や社会の動向について、自らの考えを述べる能力を有する。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 福祉の仕事に関心を持ち、将来、社会福祉士として活躍しようとする高い意欲を有する。</p>

<p>学部等名 医療経営管理学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/department.pdf?180728）</p>
<p>（概要）</p> <p>医療経営管理学部は、医療・経営・情報に関する専門的知識を有し、医療情報管理分野の専門的知識に根ざした思考力・判断力を涵養する。また、社会の変化、医療情報技術の進歩に関心を持ち続け生涯を通じて主体的に学び続ける姿勢を養成する。さらに、社会人の一員として、専門的職業人として、礼節・使命感・責任感を持ち対象者・同僚・関連職種と良好なコミュニケーションがとれる能力と問題解決能力を有する「優れた QOL サポーター」を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>
<p>（概要）</p> <p>[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力 人を理解するための幅広い教養をもち医療・経営・情報に関する専門的な知識と技術を活用できる。</p> <p>[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ 対象者、同僚、保健・医療・福祉の関連職種と良好なコミュニケーションおよび連携をとることができる。</p> <p>[Empowerment] 対象者を支援する力 社会人の一員としての礼節をわきまえ、専門的な職業人としての使命感や責任感を有し、対象者の尊厳を尊重し、適切に行動できる。</p> <p>[Problem-solving] 問題を解決する力 職場や地域社会で医療情報管理分野の専門的な知識に根ざした思考と判断により問題解決できる。</p> <p>[Self-realization] 自己実現意欲 国際化・グローバル化する社会の変化や医療情報技術の進歩に関心を持ち続け、自らを高めるため、生涯を通じて主体的・意欲的に学習できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。 https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/）</p>

(概要)

[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力

専門技術者として必要な技術や人間を理解できる教養を身につけるために医療・経営・情報に関する基礎から応用に至る幅広い内容をもつ専門基礎科目群を配置する。成果は資格試験合格率で評価する。

[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ

自己を表現し、実践する能力を身につけるとともに、対象者や他の職種とコミュニケーションをとりながら連携する技術を身につけるためにゼミ形式の自己表現法、自己実現法、キャリア開発などの授業を配置する。成果は専門基礎科目の成績により評価する。

[Empowerment] 対象者を支援する力

医療福祉分野、情報分野などで活躍できる知識や技術を修得するために専門専攻科目を配置し、それを各分野で実践するための能力を涵養するために演習科目を配置する。成果は専門専攻の演習科目の成績で評価する。

[Problem-solving] 問題を解決する力

医療・経営・情報に関する分野で、問題点を発見・分析・解決するための知識や技術を修得するために専門専攻科目を配置する。成果は専門専攻科目の成績で評価する。

[Self-realization] 自己実現意欲

医療・経営・情報などの分野で生涯に渡って問題意識と探求心をもち続け、自分自身を向上させるための心構えを身につけるために卒業研究などの専門科目を配置する。成果は卒業研究で評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 WEB サイトの下記 URL で公表。

<https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/>)

(概要)

[Science&Art] 科学的知識と技術を活用する力

高等学校卒業相当の英語・国語・数学および入学選考試験にて出題する教科・科目の基礎学力を有する。

[Teamwork&Leadership] チームワークとリーダーシップ

他者の話を理解するとともに、自らの意見をわかりやすく伝える能力を有する。

[Empowerment] 対象者を支援する力

常に人に対する思いやりをもつとともに、自ら積極的に行動しようとする態度を有する。

[Problem-solving] 問題を解決する力

ある事象に対して自分なりの思考に基づいた判断をくだすために多くの事柄を配慮し、まとめる能力を有する。

[Self-realization] 自己実現意欲

医療・経営・情報の領域に強い関心があり、関連する資格を取得し、将来、その分野で活躍しようとする高い意欲を有する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： 本学 WEB サイトの下記 URL にて公表している。

<https://www.nuhw.ac.jp/about/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	5人	—					276人
リハビリテーション学部	—	13人	6人	15人	16人	0人	50人
医療技術学部	—	29人	10人	18人	19人	4人	80人
健康科学部	—	16人	14人	18人	14人	1人	63人
看護学部	—	6人	6人	7人	6人	8人	33人
社会福祉学部	—	9人	5人	2人	6人	3人	25人
医療経営管理学部	—	8人	3人	3人	4人	1人	19人
産官学連携推進センター	—	1人	0人	0人	0人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			176人				176人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法：本学WEBサイトの下記URLにて公表。 https://www.nuhw.ac.jp/about/teacher.html				
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
リハビリテーション学部	250人	275人	110.0%	750人	787人	104.9%	0人	0人
医療技術学部	295人	297人	100.7%	1,310人	1,325人	101.1%	0人	0人
健康科学部	240人	262人	109.2%	1,040人	1,124人	108.1%	20人	0人
看護学部	107人	107人	100.0%	321人	320人	99.7%	3人	1人
社会福祉学部	120人	125人	104.2%	480人	515人	107.3%	10人	1人
医療経営管理学部	80人	86人	117.5%	320人	356人	111.3%	10人	1人
合計	1,092人	1,152人	105.5%	4,221人	4,427人	104.9%	43人	3人
(備考) ・リハビリテーション学部理学療法学科(入学定員120)・作業療法学科(50)・言語聴覚学科(40)・義肢装具自立支援学科(40)は2018年度設置。したがって、学生は1・2・3年次のみ在籍している。医療技術学部のうち、理学療法学科(120)・作業療法学科(40)・言語聴覚学科(40)・義肢装具自立支援学科(40)については、4年次のみ在籍している。 ・医療技術学部診療放射線学科(90)は、2018年度設置。学生は1・2・3年次のみ在籍している。								

・看護学部看護学科（107）は、2018年度設置。編入学生（定員3）は2020年度募集開始。健康科学部看護学科（80）については、4年次のみ在籍している。

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医療技術 学部	375人 (100%)	8人 (2.1%)	355人 (94.7%)	12人 (3.2%)
健康科学部	344人 (100%)	17人 (4.9%)	321人 (93.3%)	6人 (1.7%)
社会福祉 学部	115人 (100%)	0人 (0.0%)	112人 (97.4%)	3人 (2.6%)
医療経営 管理学部	101人 (100%)	0人 (0.0%)	95人 (94.1%)	6人 (5.9%)
合計	935人 (100%)	25人 (2.7%)	883人 (94.4%)	27人 (2.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学が開設する全授業科目について、シラバスを作成し、ポータルサイトにおいて公表している。シラバスの作成にあたっては、「シラバス登録操作マニュアル」を教員に配布し、「授業の概要」「授業の目的」「学習目標」、各授業回数における「授業計画・学習主題」「授業形態・事前事後学習・学習課題・備考」等の決められた記載事項の書き方についてガイドラインを示している。</p> <p>開設年度のみならず、次年度以降に開講する科目についてもシラバスを掲載しており、学生が4年間の履修計画を見通して立てられるように配慮している。</p> <p>建学の精神「優れたQOLサポーターの育成」に資するように、QOLサポーターとして備えるべき資質としてS（科学的知識と技術を活用する力）・T（チームワークとリーダーシップ）・E（対象者を支援する力）・P（問題を解決する力）・S（自己実現意欲）の5つを定義し、各科目のディプロマポリシーとの関連性をシラバスに明記している。</p> <p>シラバスの公開時期は、新年度開始前の3月25日頃としている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学では成績の客観的指標としてGPAを導入し、成績評価のA⁺（4点）・A（3点）・B（2点）・C（1点）までを合格、D（0点）を不合格としている。ただし、「基礎ゼミ」「連携基礎ゼミ」および学外実習科目についてはGPA対象外としている。</p> <p>一部の学科においては、一定のGPAに達している学生に対して履修科目単位数の上限（CAP制）を緩和しており、より多様な科目履修が可能となり、学修意欲を喚起する仕組みを設けている。</p> <p>なお、各学生の成績表（ポータルサイト及び紙面）には、GPAが明記されている。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第42条に定める卒業要件を満たし、かつ、大学全体・各学部・各学科単位でそれぞれディプロマポリシーに適った学生を対象として、卒業判定会議、教授会を経て、学長が卒業を認定する。</p> <p>卒業を認定された者に対しては、学則第43条に定める学位を授与する。</p> <p>ディプロマポリシー、卒業要件、取得可能な学位は下記のURLで公表している。</p> <p>上記の取組は、全学科共通している。</p>

<ディプロマポリシー> https://www.nuhw.ac.jp/applicant/admissions/diploma/college.html#diploma <卒業要件> https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/standard01_190522.pdf <取得可能な学位> https://www.nuhw.ac.jp/about/img/pdf/degree_190522.pdf				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
リハビリテーション学部	理学療法学科	(20年度生) 128 単位 (19・18年度生) 125 単位	⑦・無	50 単位
	作業療法学科	129 単位	⑦・無	50 単位
	言語聴覚学科	124 単位	⑦・無	50 単位
	義肢装具自立支援学科	129 単位	⑦・無	50 単位
医療技術学部	理学療法学科	125 単位	⑦・無	50 単位
	作業療法学科	126 単位	⑦・無	50 単位
	言語聴覚学科	124 単位	⑦・無	50 単位
	義肢装具自立支援学科	129 単位	⑦・無	50 単位
	臨床技術学科	129 単位	⑦・無	50 単位
	視機能科学科	124 単位	⑦・無	50 単位
	救急救命学科	126 単位	⑦・無	50 単位
健康科学部	診療放射線学科	128 単位	⑦・無	50 単位
	健康栄養学科	124 単位	⑦・無	50 単位
	健康スポーツ学科	125 単位	⑦・無	50 単位
看護学部	看護学科	124 単位	⑦・無	50 単位
	看護学科	124 単位	⑦・無	50 単位
社会福祉学部	社会福祉学科	125 単位	⑦・無	50 単位
医療経営管理学部	医療情報管理学科	124 単位	⑦・無	50 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : 国家試験・資格試験の合格率やサポート体制について、下記の本学 WEB ページ URL にて公表している。 https://www.nuhw.ac.jp/feature/career.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : 下記の本学 WEB ページ URL にて公表している。 https://www.nuhw.ac.jp/about/disclosure.html なお、個別の請求により本学入試事務室にてキャンパスガイドを配布している。

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
リハビリ テーショ ン学部	理学療法 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	左記「その他」の内訳 は、施設設備金と実験 実習料。
	作業療法 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	言語聴覚 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	義肢装具 自立支援 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
医療技術 学部	理学療法 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	作業療法 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	言語聴覚 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	義肢装具 自立支援 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	臨床技術 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	視機能科 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	救急救命 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
健康科学 部	診療放射 線学科	1,100,000円	300,000円	550,000円	
	健康栄養 学科	1,000,000円	350,000円	500,000円	
	健康スポ ーツ学科	850,000円	250,000円	400,000円	
看護学部	看護学科	1,100,000円	300,000円	550,000円	
	看護学科	1,100,000円	300,000円	550,000円	
社会福祉 学部	社会福祉 学科	830,000円	250,000円	320,000円	
医療経営 管理学部	医療情報 管理学科	800,000円	280,000円	250,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要)
○ 基礎ゼミ 1年次前期に学生7～8人程度のグループに教員1人がつき、充実した学生生活を送るための基本的能力を育むことを目的として、大学での学習方法や心構え等を指導する。友人づくりやコミュニケーションの場としても基礎ゼミを活用する。
○ リメディアル教育 ・A0・推薦入試の入学者を対象として、数学・化学・物理・生物（各学科任意）のe-learningによる学習を課し、各科目のプレイスメントテストを実施する。また、一定の得点に達していない者については、e-learningによる学習を継続させる。英語につ

<p>いては、プレイスメントテストの結果を必修科目のクラス分けに活用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語表現については、新入生は「日本語検定」3級を受験する。3級に合格しなかった学生は、科目「日本語表現法Ⅰ」の受講対象者となり、各学科での学習に必要な日本語能力の涵養を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習支援センター 学習アドバイザーが常駐し、専門科目の履修に向けて必要な理数系基礎科目の個別指導や、専門科目の補習セミナーや学習相談など、さまざまな要望に対応する。 ○ 国家試験・資格試験指導体制 本学は実学系の学部構成であり、国家試験・資格試験の合格・取得が卒業後の就職に直結することから、卒業研究ゼミの担当教員が、各学科の国家試験・資格試験対策委員と情報共有・連携し、指導にあたっている。 ○ 図書館の開館 図書館は年間300日以上開館しており、平日は8:45～22:00まで、時期に応じて土日も開館し、学習に集中できる環境を整備している。
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 採用面接試験対策指導 模擬面接を行い、言葉遣い・身だしなみ等の指導を行うとともに、過去の就職活動報告をもとに当該の企業等に特化した指導を実施している。 ○ 業種別学内説明会（4年次） 医療・福祉施設をはじめとして、過去の実績で各学科からの就職が多い企業等の採用担当者を招き、説明会や合同ガイダンスを実施している。 ○ 就職センターWeb ページ 就職センターのホームページを開設しており、学生は就職試験情報や求人情報の検索が可能で、全国どこからでも就職に関する情報収集が行うことができる。
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アドバイザー制・学年担任制 新入生に対しては、基礎ゼミを単位に教員がアドバイザーとなり、学習・対人関係・一人暮らしの不安等に助言を与えられる体制をとっている。また、学科によっては学年担任制を敷き、アドバイザー同様の役割を担っている。 ○ 学生（心理）相談 予約制により、精神科医師・臨床心理士による心理相談体制を整備している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法： 下記の本学 WEB ページ URL にて公表している。 https://www.nuhw.ac.jp/about/disclosure.html</p>
--